

和歌山県公共工事入札監視委員会第65回定例会議 議事概要

開催日及び場所	平成29年11月14日(火) 13:30~15:00 和歌山県自治会館 304会議室	
出席委員氏名	山西陽裕(委員長) 遠藤桂介(副委員長) 坂田初美 津村雅枝 堀田祐三子 三岩敬孝	
審議対象期間	平成29年7月1日 ~ 平成29年9月30日	
抽出案件	総件数 2 件	議事 ○入札及び契約手続の実績状況等の報告 ○抽出工事に係る競争参加資格の設定の経緯等審議 ○意見交換会
一般競争入札	— 件	
条件付き 一般競争入札	2 件	
通常指名競争入札	— 件	
随意契約	— 件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 回答	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による建議 の内容	なし	

意見・質問	回 答
<p>【条件付き一般競争入札】 ○和田川河川整備外合併工事</p> <p>1. A委員 和田川は何回も氾濫したことがあるのでは。</p> <p>2. A委員 部分的に今回危ないから工事を施工するのではなく、全体的に見通した計画のようなものはないのか。</p> <p>3. A委員 将来的に上流に行くのか。</p> <p>4. A委員 全体の見通しがあって、部分的に施工しているのか。</p> <p>5. B委員 ここが終わったら、今度は北側を施工するのか。</p> <p>6. B委員 この事業は4年目ぐらいになるのか。</p> <p>7. C委員 工事概要に延長と記載されているが、何かを延ばすということなのか。延長はどういう意味か。</p> <p>8. B委員 低入札価格調査結果において、調査内容に手持ち資材の状況が記載されているが、工事表示板、登録票、カラーコーンなどあ</p>	<p>(発注機関：海草振興局建設部)</p> <p>1. 何回もない。氾濫しているのは支川である。</p> <p>2. 全体的な計画で下流から工事を施工している。</p> <p>3. 上流に行く。</p> <p>4. J Rまでは下流から護岸を補強しながら掘ってきており、J Rから上流は既に護岸を掘り下げてもいいように補強している。 内水の水はけが悪いことから床上特緊という事業が5年間特別に採択され、どんどん進めている状況である。</p> <p>5. 北側をする。</p> <p>6. 5年目で、今年が最終年である。北側からは通常事業で施工していく。</p> <p>7. 延長とは、施工する長さのことである。</p> <p>8 手持ち資材は、通常、この程度である。</p>

<p>8. B委員 急傾斜地崩壊防止施設緊急改築事業は今言われたような趣旨で行っているのか。</p> <p>9. B委員 入札参加可能業者24者のうち19者が応札し、失格になった大半はいろいろな資料を出してこなかったからか。</p> <p>10. A委員 断面図を見ると柵が表土に刺さっているようなイメージだが、ちゃんと岩盤まで届いているのか。</p>	<p>8. そうである。</p> <p>9. 失格になったのは、最低制限価格を下回ったためである。 この工事は、1億円以上の工事に適用する低入札価格調査対象の工事ではない。</p> <p>10. 岩盤まで突っ込んでいる。</p>
<p>【意見交換会】 下記について意見交換を行った。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 公共工事動向について 2. ランダム係数について</p>	